

令和4年度第2回 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産
地域連絡会議 議事概要

＜日 時＞ 令和4年 10月12日（水） 10:00～11:30

＜場 所＞ WEB 会議

＜出席者＞ 奄美市 市長、大和村 村長、宇検村 村長、瀬戸内町 町長、龍郷町 町長、
徳之島町 町長、天城町総務課 課長（町長代理）、伊仙町 町長、
国頭村 村長、大宜味村 村長、東村 村長、竹富町 町長
（随行者、事務局関係者は省略）

＜オブザーバー＞ 科学委員会 委員長、奄美群島広域事務組合

＜議 事＞ 1. 世界遺産委員会決議（要請事項）への対応状況について
2. モニタリング計画に基づくモニタリング結果等について
3. その他

＜新たに就任した首長の挨拶＞

- 世界自然遺産登録に際する、環境省をはじめ、関係者の皆様の尽力に敬意を表する。また、登録後も様々な課題に取り組んでいることに対して感謝申し上げる。遺産の保全・活用を図りながら、地域の振興に努めて参りたい。（大宜味村長）

＜概 要＞

議事1. 世界遺産委員会決議（要請事項）への対応状況について

- 世界遺産委員会決議（要請事項）への対応状況について、事務局より説明を行った。
- 科学委員会（10月5日開催）において指摘のあった事項について修正する旨、事務局より説明を行った。
- 保全状況報告に関して異議のないことを確認し、レポートの内容について合意した。

議事2. モニタリング計画に基づくモニタリング結果等について

- モニタリング計画に基づくモニタリング結果等について、事務局より説明を行った。

議事3. その他

- 科学委員会委員長より発言があった。

＜科学委員会 委員長の発言＞

- 科学委員会において、要請事項への対応について、委員から様々なコメントがあった。全体としては、丁寧な議論が行われており良い対応になっているという評価を受けた。一方で、世界遺産委員会や IUCN にとってレポートが読みやすいかという観点からは改良の余地があるという意見があり、より読みやすいレポートに改良した上で報告す

るという方向で進めることになっている。

- また、モニタリング計画について、科学委員会の専門家に詳細なチェック及び必要に応じて意見を出して頂くようお願いしており、今後も改良される可能性もある。議論を継続していただきたい。
- 小中学校、会社の関係者など地域の方々と話したとき、様々な質問をいただいた。自然遺産の登録に関わっていない人からは驚くような質問が出てくる。例えば「そもそも世界自然遺産はいつ頃できたのか」、「どういう経緯でできたのか」、「何が問題なのか」など、すぐには答えられないような質問をたくさん聞かれた。これらの問いに答えるため、改めて勉強し、世界自然遺産について私も理解を深めることができた。そのようなことをぜひ皆様と共有したいと考え、現在二つの試みを計画中である。
- 一つは各島でシンポジウムを開催し、地域の皆様と世界自然遺産について一緒に勉強する機会を設ける。沖縄島北部では11月に開催予定であり、西表島でも日程を調整中、奄美大島や徳之島ではこれから議論が進むはずである。シンポジウムの際には地域の方々からたくさん意見を出していただき、お互いに理解を深めたいと考えている。
- もう一つは、この世界自然遺産の内容を若年層にも分かりやすい出版物を発行したいと考えている。誰でも世界遺産を理解できるような出版物として、この地域連絡会議やその他の会議、活動などを踏まえ、世界自然遺産の情報を分かりやすくまとめていきたい。
- 私たちの自然遺産をより良い状態で保全していくことに注力する必要があるため、今後とも皆様のご協力をお願いしたい。

以上